令和7年度 第1学年(国語)年間学習計画

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。
【主体的に学習に取り組む態度】	○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	学 習 内 容
4	はるがきた
	おはなし ききたいな
	なんて いおうかな
	かくこと たのしいな
	どうぞ よろしく
	こんな もの みつけたよ
	うたに あわせて あいうえお
5	つづけよう①(ことばのたいそう/よくきいて、はなそう/ことばをさがそう)
	はなの みち
	としょかんへ いこう
	かきと かぎ
	ぶんを つくろう
	ねこと ねっこ
6	わけを はなそう
	おばさんと おばあさん
	あいうえおで あそぼう
	つぼみ
	おおきく なった
	おもちやと おもちゃ
	おおきく なった
	おおきな かぶ
7	はをへを つかおう
	おむすび ころりん
	こんな ことが あったよ
	としょかんと なかよし
9	つづけよう②(こえをあわせて よもう/みんなに しらせよう/ことばを みつけよう)
	やくそく
	かたかなを みつけよう
	うみの かくれんぼ
	かずと かんじ
10	くじらぐも
	まちがいを なおそう
	しらせたいな、みせたいな
	かん字の はなし
	ことばを たのしもう
11	じどう車くらべ
	じどう車ずかんを つくろう
	かたかなを かこう
	どんなおはなしが できるかな
	たぬきの 糸車
12	日づけと よう日
	てがみで しらせよう
	おかゆの おなべ
1	ことばのたいそう(なりきって よもう/くわしく かこう/ことばであそぼう)
	どうぶつの 赤ちゃん
	ものの 名まえ
	わらしべちょうじゃ
	かたかなの かたち
2	ことばあそびを つくろう
	これは、なんでしょう
3	ずうっと、ずっと、大すきだよ
	にて いる かん字
	いい こと いっぱい 一年生

〈授業の工夫〉	○発声や発音、語句、文や文章、言葉遣いなどの日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、語彙を豊かにします。 ○伝え合う力を高めたり、自分の感想をもったりすることができるようにするために、単元に沿った言語活動を工夫します。
〈評価について〉	○言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか。 ○日常生活における人と人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養っているか。 ○言葉がもつよさを感じるとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか。 以上のことを、単元ごとのテストや授業での発言内容、ノートや少人数での提出物、授業での発言内容、作文、発表、少人数の話し合い活動の様子などを基に評価します。
〈学習方法など〉	○平仮名、片仮名漢字の定着を図るためにドリルや学習ノートなどの家庭学習を継続します。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する力を育むために、音読カードを使って家庭学習を継続します。 ○楽しんで読書ができるよう、学校図書館の本を活用します。週に1回、朝読書の時間を設けます。

令和7年度 第1学年(算数)年間学習計画

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	○数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

月	学 習 内 容
4	※くらべた ことが あるかな
	※おおいのは どちらかな
4，5	◇1、なかまづくりと かず
5	2、なんばんめ
	※どのように かわるかな
	※しあげよう
5，6	3、あわせて いくつ
	ふえると いくつ
	※おぼえているかな？
6	4、のこりは いくつ
	ちがいは いくつ
7	5、どちらが ながい
9	6、わかりやすく
	せいりしよう
	7、10より おおきい かず
	8、なんじ なんじはん
	※おぼえているかな？
	9、3つの かずの けいさん
	10、どちらが おおい
	※おぼえているかな？
10	11、たしざん
	※おぼえているかな？
	12、かたちあそび
11	13、ひきざん
	※どんな けいさんに なるのかな？
	※けいさんぴらみっど
	※おぼえているかな？
1	14、おおきい かず
	15、どちらが ひろい
2	16、なんじなんぷん
	※ビルを つくろう
	17、たしざんと ひきざん
3	18、かたちづくり
	※1ねんの ふくしゅう

〈授業の工夫〉	○日常生活に関連付けながら算数に親しみ学ぶよさを実感できるようにします。 ○ブロックや色板などの具体物を実際に操作する活動を有効に活用し、図などを用いて問題解決の過程や結果を可視化してわかりやすく表します。 ○幼児期の遊びや生活の中での数量などに関心をもつ体験を踏まえ、指導の工夫を行い
〈評価について〉	○算数科で学習する内容の基礎となる概念や性質を理解し、算数の学習を進めていく上で必要な数学的な処理や表現の基礎となる技能を習得しているか。 ○「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」において必要に応じて具体物を操作しながら考察したり、簡潔に表現したり、適切に判断したりしているか。 ○数量や図形に親しみをもち、それらに対する感覚を豊かにするとともに、算数を学ぶことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしているか。 以上のことを単元ごとのテストやプリント、ノート、発表などを基に評価します。
〈学習方法など〉	○個に応じた指導を行うため、学習内容ごとに習熟度別少人数指導を実施します。

令和7年度　第1学年(　生活　)年間学習計画

	年　間　学　習　目　標
【知識及び技能】	○活動や体験の過程において，自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴やよさ，それらの関わり等に気付くとともに，生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○身近な人々，社会及び自然を自分との関わりで捉え，自分自身や自分の生活について考え，表現することができるようにする。
【主体的に学習に取り組む態度】	○身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

月	学　習　内　容
4	◇いちねんせいに　なったら
4～6	がっこうを　たんけんしよう
5～10	◇きれいな　はなを　さかせたい
5～9	きせつとあそぼう　－はるから　なつ－
9､10	いきものと　なかよくなろう
10～12	きせつと　あそぼう　－あき－
12～2	じぶんで　できるよ
12～2	きせつと　あそぼう　－ふゆ－
2～3	もうすぐ　2年生

〈授業の工夫〉	○見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどの直接働きかける学習活動、また、そうした活動の楽しさやそこで気付いたことなどを言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって表現する学習活動を主体的に行います。 ○遊びを通した総合的な学びを生かし、具体的な活動や体験を通して感性を豊かに働かせるとともに、身近な出来事から気付きを得て考えるようにします。 ○他教科等との関連を図り、子供たちの生活とつながる学習活動を取り入れます。 ○活動や体験を十分に行い、自分の中の気付きを明確にしたり、それぞれの気付きを共有し関連付けたりして、言葉などにより振り返ります。
〈評価について〉	○具体的な活動や体験、伝え合いや振り返りの中で、自分自身、身近な人々、社会及び自然がもっている特徴や本質的な価値、それぞれの関係や関連に気付くこと。 ○身近な人々や、社会及び自然と直接関わり合う中で、生活上必要な習慣や技能を身に付けること。 ○児童が自分自身や自分の生活について、学習活動により、分析的に考えること、創造的に考えること。 ○気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、多様な方法によって、他社と伝え合ったり、振り返ったりすること。 ○思いや願いの実現に向けて、身近な人々、社会生活及び自然に働きかけ、意欲や自身をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとすること。 以上のようなことを単元ごとに総合的に評価します。
〈学習方法など〉	○試行錯誤したり繰り返したりして、対象に何度も関わりながら体全体で学びます。 ○伝え合い交流する場で、一人一人の気付きを全員で共有し、全員で高めていきます。 ○見付ける、比べる、例える、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行い、活動や体験したことを言葉などによって振り返るようにします。 ○多様性を生かし、互いのよさやそれぞれの気付きを認め合えるようにします。

令和7年度 第1学年（ 音楽 ）年間学習計画

	年間学習目標
【知識及び技能】	○曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
【主体的に学習に取り組む態度】	○楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を

月	学習内容
4	○うたって おどって なかよく なろう どみそらんど 校歌を歌おう ひらいた ひらいた
5	○はくをかんじとろう じゃんけんぽん さんぽ なまえあそび／フルーツランド みんなで あそぼう
6	○はくに のってあかるいこえでうたおう しろくまの ジェンカ かたつむり ぶん ぶん ぶん ことばで リズム うみ
7	○みの まわりの おとに みみを すまそう おとを さがして あそぼう
9	○どれみと なかよく なろう みつばちハニーの ぼうけん たのしく ふこう どんぐりさんの おうち どれみであいさつ なかよし／どれみふぁその まねっこ ひのまる
10	○せんりつで よびかけあおう やまびこ ごっこ まねっこあそび せんりつのまねっこ・おはなし こうしんきょく
11	○がっきと なかよく なろう おとさがし さがしてみよう ならしてみよう シンコペーテッド
12	○ようすを おもいうかべよう きらきらぼし ほしぞらの おんがく はる なつ あき ふゆ
1	○にほんの うたを たのしもう さんちゃんが／おおなみ こなみ おちゃらか ほい
2,3	○みんなで あわせて たのしもう あいあい とんくるりん ぱんくるりん こいぬの マーチ ラデツキー こうしんきょく

〈授業の工夫〉	○音楽表現を楽しめるように、段階的に学習します。 ○身の回りの様々な音楽に親しみ、曲や演奏の楽しさを得られる教材を用意します。また、タブレットPCを演奏の手段の一つとして使用します。 ○友達と音楽活動をする楽しさを大切にしながら、自分の感じたことや表現を楽しく伝え合う場を多く設定します。
〈評価について〉	○題材の表現や技能だけでなく、楽しく音楽活動に取り組んでいるかを評価します。 ○音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか工夫している様子を評価します。 ○友達との音楽活動を楽しみながら取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方を認めたりする様子を評価します。
〈学習方法など〉	○グループやペアでの活動を取り入れ、友だちの演奏を聴き合うことができるようにします。

令和7年度　第1学年（　図工　）年間学習計画

	年　間　学　習　目　標
【知識及び技能】	○対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通し気付いている。手や体全体の感覚などを働かせて材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。
【思考力・判断力・表現力等】	○形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、楽しく発想や構想をしたり、身の回りにある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。
【主体的に学習に取り組む態度】	○つくりだす喜びを味わい楽しく表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。

月	学　習　内　容
4	◇うつしたかたちから
	◇すきなものいっぱい
5	◇チョキチョキかざり
	◇おってチョキチョキ
6	ひもひもねんど
	おってたてたら
	のってみたいないきたいな
7	おはなしからうまれたよ
	ごちそうパーティー
	カラフルいろみず
9	いろいろなかみのかたちから
	かざってなにいれよう
10	すきなかたちやいろなあに
	でこぼこはっけん
11	はこでつくったよ
	ぺったん、コロコロ
12	ならべてならべて
	かみざらころころ
1	すきまちゃん
	いっしょにおさんぽ
2	にょきにょきとびだせ
	つちやすなとなかよし
3	ひらひらゆれて

〈授業の工夫〉	○主体的に造形活動に取り組めるように、目標を明確に示していきます。 ○各学年の発達段階を捉え、題材を組み立て、表現の楽しさを味わえるようにしていきます
〈評価について〉	○一人一人の活動の様子や作品の制作過程を見ていきます。 ○一人一人が見方や感じ方を広げていけるように、感想を書いたり、自己評価を行ったりしていきます。
〈学習方法など〉	○夏休みには、ポスターなどご家庭で取り組める内容をお知らせします。

令和7年度 第1学年(体育)年間学習計画

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	○各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動したり、健康・安全に留意したりして、意欲的に運動する態度を養う。

月	学 習 内 容
4	体ほぐしの運動遊び
4	固定施設遊び
5	いろいろなものに変身!(表現遊び)
5	鉄棒遊び
5	かけっこ
6	表現遊び
6	鬼遊び
7,9	水遊び
9	体ほぐしの運動遊び
9	多様な動きをつくる運動遊び
9	リズム遊び
9	大好き!動物ランド(表現遊び)
10	ろく木遊び
10	マット遊び
10	ボール投げゲーム
10,11	幅跳び遊び
11	流れ星ゲーム(ボール投げゲーム)
11,12	跳び箱遊び
12	ボールけりゲーム
1	ハードルリレー
1,2	多様な動きをつくる運動遊び
2	リズム遊び(フォークダンス含む)
3	ボール運び鬼

〈授業の工夫〉	○個の実態に応じた課題の達成に向けて挑戦できるように場の工夫をしたり、学習カードを用意したりして、一人一人の意欲や体力・技能を伸ばすようにします。 ○みんなが楽しめるようなルールや運動を工夫して考え、児童にわかりやすく提示するようにします。 ○安全に遊ぶための決まりやルールを考えさせるようにします。
〈評価について〉	○運動遊びの基本的な動きについての評価のほかに、学びに向かう力、人間性、思考力、判断力、表現力を評価します。 ○学習カードを用いて自分の学習を振り返ったり、行った工夫を見つけたりするような自己評価や、友達同士の相互評価を行います。 ○約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場の用具や安全に気を配ったりする様子を観察し、評価します。
〈学習方法など〉	○なわとび月間、マラソン月間を設け、体力づくりを行います。 ○授業時間は運動量をしっかり確保します。学習カードを活用し、運動遊びをする場や、練習の仕方などを自分の力で工夫したり選択できるようにします。

令和7年度　第1学年(　道徳　)年間学習計画

	年　間　学　習　目　標
目標	(「第3章　特別の教科　道徳」の「第1　目標」) 第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
第1学年及び第2学年重点目標	自立 〇あいさつ、返事などの基本的な生活習慣を身に付けること 〇善悪の判断をし社会生活上のきまりを守ること

月	学　習　内　容
4	◇よりよい学校生活，集団生活の充実 ◇節度，節制
5	◇礼儀 友情，信頼 ◇友情，信頼 ◇善悪の判断，自律，自由と責任
6	個性の伸長 生命の尊さ 節度，節制　　規則の尊重 友情，信頼
7	正直，誠実 家族愛，家庭生活の充実
9	自然愛護 生命の尊さ よりよい学校生活，集団生活の充実 公正，公平，社会正義
10	善悪の判断，自律，自由と責任 友情，信頼 よりよい学校生活，集団生活の充実 感謝 希望と勇気，努力と強い意志
11	公正，公平，社会正義 親切，思いやり 感動，畏敬の念 礼儀
12	親切，思いやり 勤労，公共の精神 家族愛，家庭生活の充実
1	伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度 国際理解，国際親善 生命の尊さ
2	希望と勇気，努力と強い意志 個性の伸長 規則の尊重
3	正直，誠実 感謝

〈授業の工夫〉	〇道徳の授業では，生活経験の異なる児童一人一人が教材文の登場人物の生き方について話し合って考えることを通して，自己の生き方についての考えを深めていくことを大切にします。
〈評価について〉	〇道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に，自己を見つめ，物事を多面的・多角的に考え，自己の生き方について考えを深める学習」が実現できていたかを評価します。そのために，授業中の発言や話し合いの様子，ノートへの記述をもとに肯定的評価を
〈学習方法など〉	教科書とノートを使って学習します。 学習の流れ ①教材文の状況を把握する②登場人物の思いを共通理解する③授業の中心で考えさせたいこと(場面)について，より深く話し合えるよう話し合い活動を行う。④これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。